

Phak chii

30年 12月号

朴廷熙公認会計士事務所

〒542-0081

大阪府中央区南船場 1-16-10 大阪岡本ビル5階

電話：06-6264-6135 FAX：06-6264-6136

年末12月29日から年始1月6日まで休業



毎年のことながらクリスマスが過ぎれば年末、そしてお正月。月日が経つのは本当にはやい、毎年同じことを言ってますね。今年から少し日々の生活を意識しています。同じことを繰り返し、特に変化のない平凡な日々を送るので加速的にはやく感じるそうです。出来るだけ無意識は避け、意識して判断する生活。少し時間がスローに感じる様になりました。

【贈与税や相続税が一切かからない!?!】

中小企業の経営者の高齢化が急速に進む中、円滑な代替わりを促すため10年間の特例措置として「事業承継税制」が拡充されました。現行制度では非上場の自社株式を後継者が引き継いだ際に発生する贈与税や相続税が、その後継者や相続人には大きな負担となっていました。そこでその問題を解決し、できるだけスムーズな事業承継を後押しするために、一定の要件のもとで贈与税や相続税の納税が猶予される制度が、2018年度の税制改正によって大きく変わりました。中でも重要なポイントは2つあります。

1つ目は、2023年3月31日までに「特例承継計画」を都道府県庁に提出すると2027年12月31日までに限り、自社株式の贈与や相続の際にかかる贈与税と相続税が一切かからない仕組みになったことです。

2つ目は、雇用の要件が実質的に撤廃されたことです。改正前の制度では納税を猶予されても5年間平均で雇用者数の8割を維持することが義務付けられていました。

それができなければ猶予された贈与税と相続税の全額を納付しなければなりません。しかし、今回の改正により実質的にこの要件が撤廃され、リスクが大幅に軽減されたのです。わずか10年という限られた期間ですが、中小企業の経営者にとっては事業承継について考える絶好のタイミングではないでしょうか。



オイシイ!

MOMOFUKU noodle



李です。皆さまからいつも美味しくて身体に良いものばかり食べているイメージを持たれますが、実はインスタント麺(袋麺)が好きで割によく食べます。朝の連ドラの主人公、日清の安藤百福の名前を付けて阪急梅田本店で限定販売している「MOMOFUKU noodle」わざわざ知人が並んで購入してくれました(涙)赤・黄・緑等がある中で赤と黄を試食。麺は全粒粉を使いノンフライ、スープは野菜あられし食感のスムージータイプ。美味の価格は@540円!並ぶ時間、労力と価格...リピートは無。

今月の教えてキーワード：【ESG投資】

Environment（環境）・Social（社会）・Governance（企業統治）に配慮している企業を選別して投資すること。
地球温暖化、生物多様性の保護、人権や地域貢献、法令遵守、情報開示などへの取り組みを重視する。
企業の長期的な成長のためにはESGの観点が必要という概念が世界的に広まりつつあり、取り組みが不十分とみなされれば資金を引き揚げる動きもある。東京五輪を前に世界の投資家は日本企業にも厳しい目を向けている。

【「外れる」勇氣】

四季折々で表情を変える美しい自然の風景は、日本の魅力として世界に広く知られています。けれどこの夏は、アフリカから来た観光客に「日本のほうが暑い！」と言わせるほどの猛暑でした。天候でも植物の生育でも生き物の生態でも「季節外れ」という言葉が「異常」の代名詞にもなっている現代ですが、昔の日本には季節外れを受け入れる風流がありました。



例えば、俳句の季語では時節を過ぎて鳴く虫の音を「忘れ音」といいます。時節が過ぎ去ってから咲く花は「忘れ花」。返り咲きした花は「返り花」。春半ばの降りじまいの雪は「雪の果」「忘れ雪」「別れ雪」「涅槃雪（ねはんゆき）」

など情緒たっぷりに表現されます。歌人にとっての季節外れは異常ではなく、風情や個性なのでしょう。

「外れる」という言葉には「予測や期待と違う結果になる」「通常基準に合わなくなる」「一定の枠や基準を超える」という意味もあります。「一億総中流社会」に象徴された昭和から「多様化」の平成になり、多様化という言葉さえすでに古いと感じるくらい価値観が枝分かれして複雑になりました。凝り固まった価値観やルールからの脱却を「さよなら、おっさん」と表現した広告が賛否両論を呼んだのは記憶に新しいところ。「個」の時代がますます加速していくと言われる今、外れること自体が価値を創造していくようにも感じます。しかし、長年商売をしていると、変化を求めながらも外れることを避けようとするのはよくあることです。

口では「変わりたい」と言いながら、実は今に甘んじていたいという気持ちは、ごく一般的な心理でしょう。それでも私たちは、外れた事象を受け入れる遺伝子を受け継いでいます。しかも「激動の昭和」と「多様性の平成」の両方を経験している世代は、故（ふる）きを温（たず）ねて新しきを知るバランス感覚も持ち合わせているのではないかと思います。人によっては3つの年号をまたいで商売をしていく人もいるでしょう。過去にとらわれず「外れる」勇氣を持って新しい時代に望みたいものですね。

今月の いろいろ 「掲示板」

【お茶汲み大好き】

朴事務所に入所してから現在に至る20数年以上、お茶汲みをして来ました。世間は「お茶汲み」を下っ端がするもの、と軽んじる傾向があります。お茶をお出しすることで相手の方とちょっとしたコミュニケーションが取れたり、そこから生まれるもの、得るものたくさんあります。そしてお茶汲み占いではありませんが、その方の性格、趣向もわかります。お茶汲み好きが高じてとうとう「ゆるカフェ」まで造ってしまいました。李



朴公認会計士事務所忘年会
12月7日（金）18時半～21時

あわび村心齋橋店

中央区心齋橋筋 1-5-7
☎06-4256-2799

ご出席される皆さま
お待ちしております！